

全学一斉地震防災訓練の流れ

2026年10月28日(水)
11:30～12:00

訓練時間中は自動車・バイク・自転車の構内通行禁止！

訓練の内容

全学一斉訓練では、平日の授業中に地震が発生したことを想定します。大地震発生時には屋内外に緊急地震速報が放送されますので、以下の①～④に従って行動します。説明をよく読んで確認してください。

①緊急地震速報で安全確保行動！

安全確保行動の3ステップ



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

この安全確保行動の訓練(Shake Out)は、広く行われています。各自の状況に応じて行動してください。

状況により安全確保のための行動は異なります。教室などでは、机の下で落下物から頭を守り、机が動かないように押さえる姿勢が一般的です(左図)。

実験室では、薬品等があるため、できるだけ室内外の安全な場所に移動して安全確保行動をとります。

訓練では、緊急地震速報から数秒後に地震の揺れが始まり2分間は強い揺れが続く想定です。その間、揺れているイメージを持って、安全確保行動を必ず続けてください。遠隔授業により自宅にいる場合も、安全確保行動をとってください。

②安全に避難

揺れが収まったら、教員や避難誘導員の指示に従って、建物近くの決められた一次避難場所(裏面地図参照)まで、落ち着いて避難します。

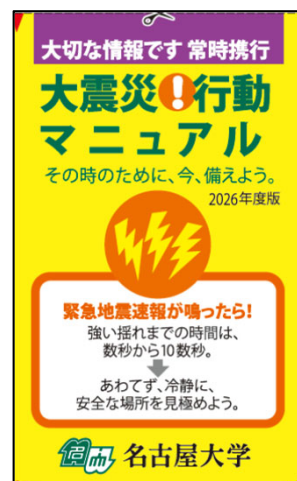
建物から出る際にはガラス、タイルなど落下物に注意し、カバン等で落下物から頭を守りましょう。避難するときには電気・ガス等の機器はできるだけ切ってください。貴重品は身に付けてください。障がいのある人や日本語が分からない人も、助け合って一緒に避難しましょう。

③避難者確認

一次避難場所へ避難したら、教員や一次避難場所に待機している自衛消防隊員(教職員)に予め記入しておいた**避難者確認カード**を渡してください。名簿によるチェックやバーコードリーダーによる学生証・職員証読込の場合もあります。

一次避難場所で安全が確保できた避難者を確認することは、全員の安全を守り、その後の対応を行うために重要です。

「大震災行動マニュアル」に訓練用と災害時用の避難者確認カード(右図)がついていますので、予め2枚とも記入しておき、今回は訓練用を使い、災害時用は持ち歩くようにしてください。



④安否確認システム 対応訓練

**登録されたメールアドレスへ
安否確認メールが届きます。**

安否確認システムに登録された緊急連絡用アドレス(機構メールや携帯電話など)に、no-reply@iecc.jpから送信される安否確認メールが届きます。メールのURL(https://anpic*iecc.jp/*****)をクリックして安否状況を入力してください。スマホアプリやLINEによる返信も可能です。

安否入力期限:10月30日(金)17:00(できるだけ早く入力)

裏面にも重要な情報が掲載してありますので、必ず確認してください。

大地震発生時の行動

大地震が発生した場合の行動は、発生時間や地震の状況、規模などによって異なりますが、平日の日中に大学に滞在している間に発生した場合は、概ね以下の流れになります。

地震の揺れから身を守る

一次避難場所に避難して待機

安全が確認された建物に移動し待機

自宅付近の被害状況、交通機関・ライフラインの復旧状況を確認して自宅へ

自宅の被災状況により、必要に応じて地域の避難所へ

大地震発生時の一次避難場所

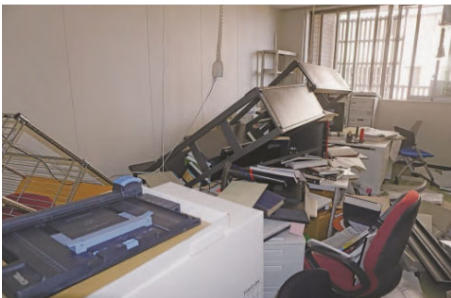


正確な情報収集と家族への連絡

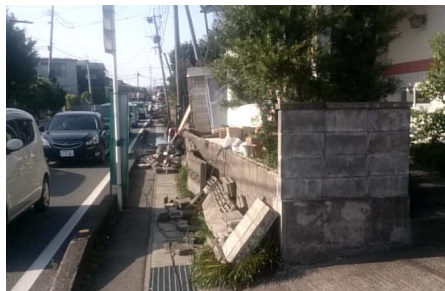
- ・ 気象庁、自治体など公的機関のウェブページ、ネットワーク放送、SNSなどから災害情報を収集（デマに注意）
- ・ 大学からの情報は学内では放送・指示伝達など、学外ではホームページ、一斉メールなどにより確認
- ・ 災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言板（携帯電話）、SNS等により家族と連絡

自宅や通学路の安全確認

自宅の重い家具の固定や安全対策、通学・通勤経路の地震時の危険を確認しましょう。



本棚は本を詰めると 200 kg 以上になり、転倒の衝撃で大きな危険があります。



地震時には、ブロック塀や自販機の倒壊、看板や瓦などの落下物、切れた電線等に注意しましょう。



南海トラフ地震臨時情報が発表されたら

2019年5月31日から気象庁による「南海トラフ地震臨時情報」の提供が開始されました。これは、巨大地震が予測されている南海トラフ（駿河灘から四国沖・九州沖に続くプレート境界）で、大規模地震や地殻変動などの異常な現象が観測され、広い範囲での大地震発生の可能性が高まった時に発表されます。

臨時情報が発表された場合の対応は、地域や地震の状況により様々なため、国や地方自治体の情報をあらかじめよく確認してください。特に、臨時情報（巨大地震警戒）が発表された際、名古屋市の港区、南区等では、地震直後に避難が間に合わない恐れがあることから、地震の前に避難を開始する事前避難対象地域に指定されている地域があります。授業の実施などは大学からの指示に従い、あわせて各自で情報収集に努めて安全を確保してください。また、臨時情報などが発表されず、地震が突然発生する可能性もあることから、日ごろの安全対策や被災時の準備などが一層大切になります。

お問い合わせ先：災害対策室（東山内線6040）